

2019年3月期 第1四半期
決算説明資料

2018年8月



目次

損益状況 <連結> 3頁

損益状況 <セブン銀行> 4頁

ATMプラットフォーム事業（国内事業） 5頁

決済口座事業（国内事業） 6頁

損益状況 <FCTI> 7頁

海外事業（米国） 8頁

連結子会社（国内） 9頁

連結子会社（国内・インドネシア） 10頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
(<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

損益状況＜連結＞

経常収益	前年同期比	+ 15.7%
経常利益	//	+ 1.8%
純利益	//	△2.7%

(単位：億円)

	17年度 第1四半期	18年度 第1四半期	前年差異	18年度 通期計画
経常収益	309	358	49	1,467
経常費用	210	257	47	1,069
経常利益	99	100	1	398
純利益	67	65	△2	268

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル

: 2017年度第1四半期 = 113.60円、2018年度第1四半期 = 108.22円、2018年度計画 = 110.00円

注4) 純利益は親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

損益状況＜セブン銀行＞

経常収益	前年同期比	+ 2.8%
経常利益	//	+ 6.1%
純利益	//	+ 6.4%

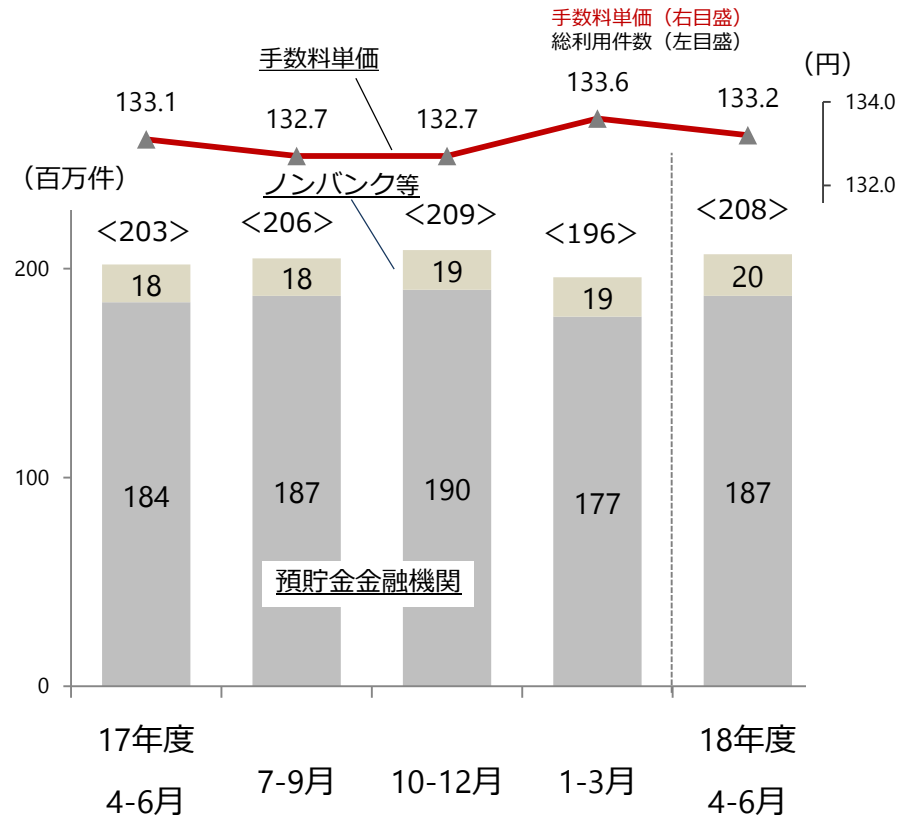
(単位：億円)

	17年度 第 1 四半期	18年度 第 1 四半期	前年差異	18年度 通期計画
経常収益	289	297	8	1,196
うちATM受入手数料	264	270	6	1,083
経常費用	182	183	1	771
経常利益	106	113	7	425
純利益	73	78	5	294
EBITDA	146	152	6	586
期末ATM設置台数 (台)	23,553	24,500	947	25,350
平均利用件数 (件/台/日)	95.7	93.9	△1.8	93.1
総利用件数 (百万件)	203	208	5	839

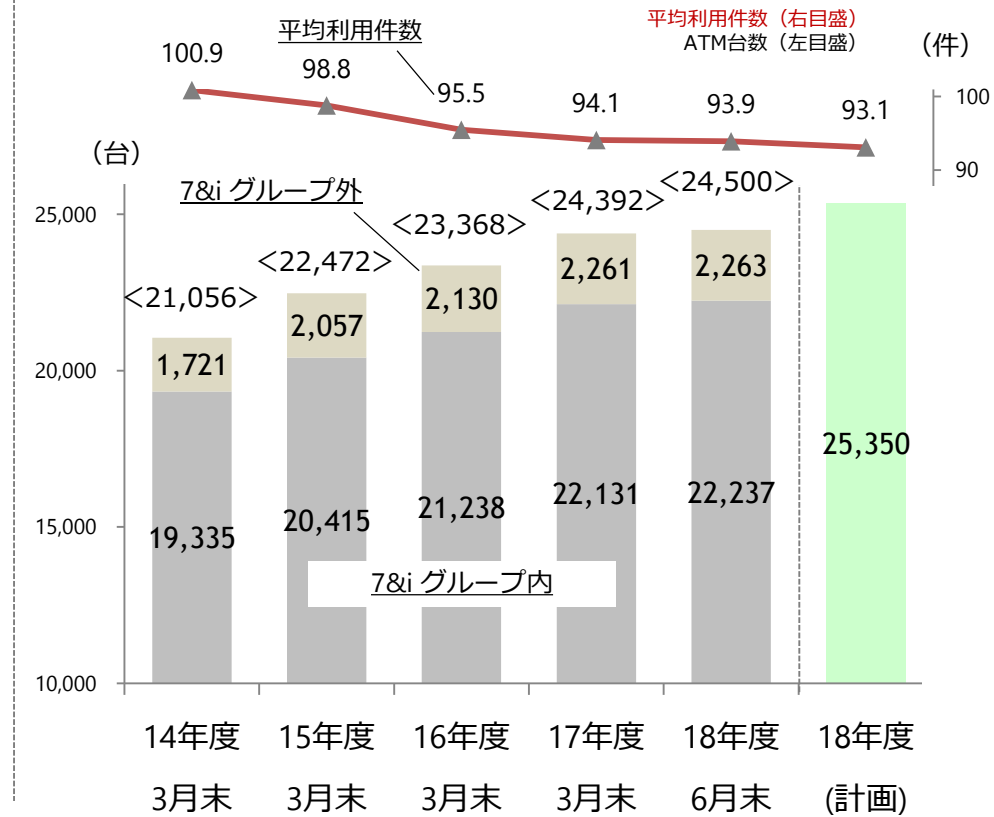
注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

ATMプラットフォーム事業（国内事業）

ATM利用件数と受入手数料単価の推移



ATM台数と平均件数の推移



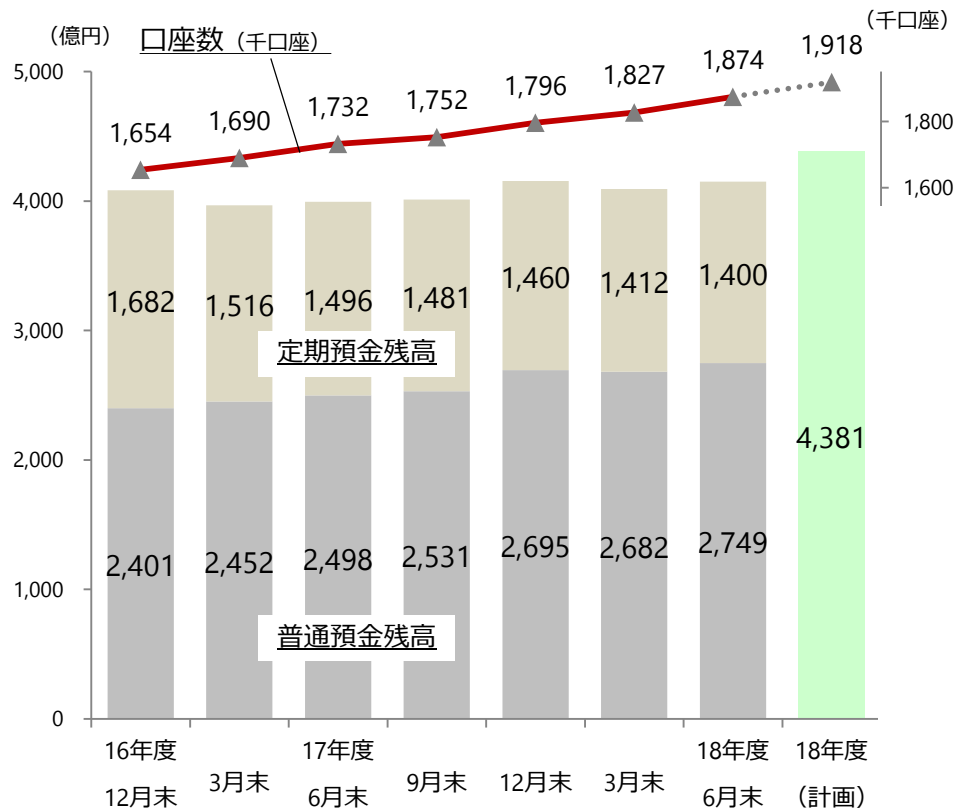
注1) 総利用件数、平均件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷（総利用件数－ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>）で算出

注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

- ・ ATM台数増加、総件数は増加
- ・ スマホATM、チャージ取引、現金受取サービスなど新サービスの拡大に向け施策推進

口座数と預金残高（個人）



個人向けローン

	18年 3月末	18年 6月末	18年度 計画
期末残高 （億円）	227	228	258

海外送金サービス

	17年 4月～6月	18年 4月～6月	18年度 計画
取引件数 （千件）	255	272	1,259

デビットサービス

	17年 4月～6月	18年 4月～6月	18年度 計画
取引件数 （千件）	1,267	2,264	10,558

- ・ 口座数、預金残高は順調に拡大
- ・ 各サービスは進捗にばらつき、獲得方法など施策を見直し

損益状況<FCTI>

経常収益	前年同期比	+211.9%
経常利益	//	△128.6%
純利益	//	△262.8%

(単位：百万\$)

	17年度 第1四半期 (2017/1-3)	18年度 第1四半期 (2018/1-3)	前年差異	18年度 通期計画
経常収益	17.8	55.8	38.0	239.1
経常費用	21.4	64.0	42.6	250.0
経常利益	△3.5	△8.2	△4.7	△10.9
純利益	△2.2	△8.2	△6.0	△10.9
EBITDA	△2.0	△1.8	0.2	13.9

期末ATM設置台数 (台)	5,829	13,413	7,584	13,300
うちSEI設置台数	-	7,954	7,954	8,400
平均利用件数 (件/台/日)	15.9	31.2	15.3	36.7
うちSEI設置	-	43.0	-	50.0
総利用件数 (千件)	8,660	36,152	27,492	177,400

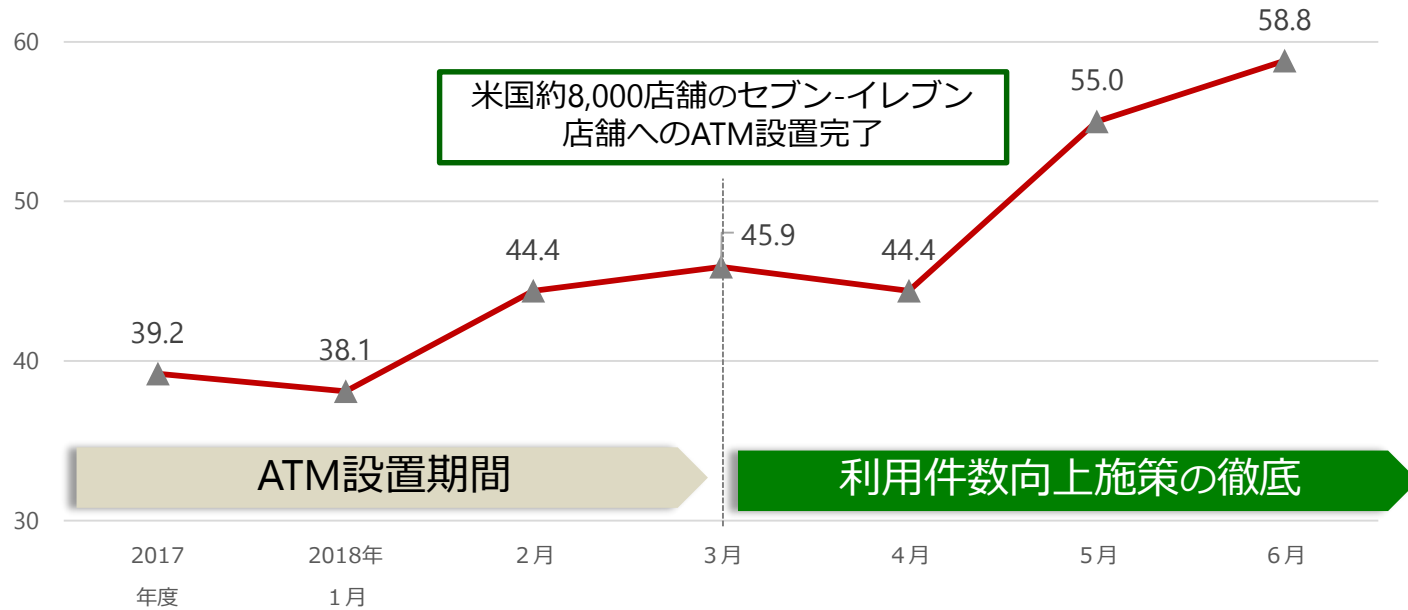
注) 2018年6月末時点のATM台数 = 13,235台

SEI内 : 7,899台

SEI外 : 自社保有 4,487台、設置先保有 849台

米国セブン-イレブン設置ATM

月別ATM平均利用件数推移



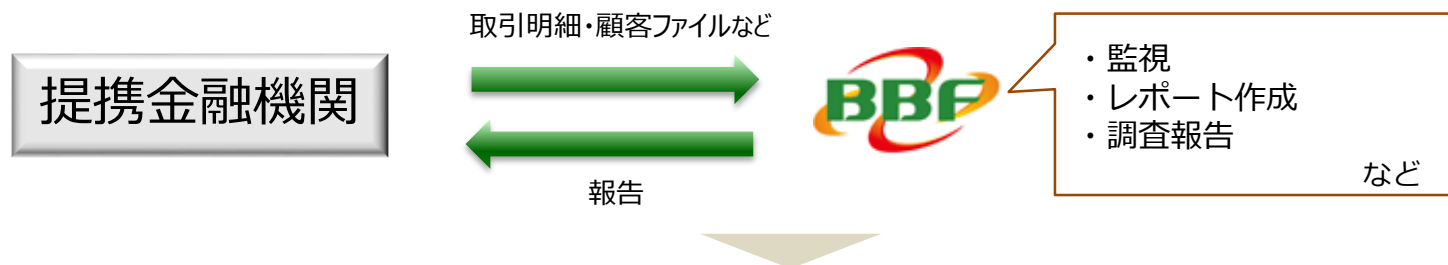
- ・ 認知向上が進み、5月以降利用件数は増加
- ・ ATM装填現金コストの適正化など運用の見直しを推進中

BBF（国内）



金融機関のマネー・ローンダリング対策のサポートを開始

SCSK株式会社と協働し、不正口座対策として提携先から提供される取引データから不審と思われる取引の抽出・報告に至る一連のサービス「取引モニタリング事務受託サービス」をスタート。



金融機関の事務効率化に貢献 → 幅広い方面での関係強化

- 4行より、マネー・ローンダリング事務受託受注（2018年8月3日時点）
- 多数の金融機関から引合い、サービス導入に向け体制強化

7 PS（国内）



株式会社

セブン・ペイメントサービス

セブン銀行100%子会社

- ・ 2018年5月7日に現金受取サービスを開始

サービス契約企業52社（2018年6月末）、年度内に100社との契約を目指す

7 PY（国内）

株式会社セブン・ペイ

- ・ 2018年6月14日設立（当社出資割合30%、持分法適用関連会社）

スマートフォンをツールとした新たな決済サービス開始に向け準備中（来春予定）

ATMi（インドネシア）



- ・ ATM設置台数は114台（2018年6月末）

自社運営ATMの効率化に向け、営業体制強化・S&Bの推進を継続
（利用件数の見込める設置先への移転）